

1953年切手趣味週間のパンフレット

永吉 秀夫

1947年に発行が始まった切手趣味週間の記念切手(1949年は郵便週間記念)ですが、有名な「見返り美人」や「月に雁」が発行されたのち、1950～53年の間は発行が中断しました。しかしこの間も切手趣味週間という行事は毎年開催されています。1953年には右のような立派なパンフレットが作られ配布されました。

これはA4サイズを変則3つ折りとしたもので、開くと下のようになっています。その頃の世界各国の切手画像が散りばめられ、中央部(折りたたんだときの裏面)には1953年の新切手発行一覧が載っているほか、趣味週間にちなんで切手普及課の在庫切手を全国の主要局郵便窓口で販売するという広告が載っています。切手は発行されていても有形無実となっている近年の切手趣味週間よりずっとマシとも言えるかも。



パンフレットの内側は左のようになっていて、切手豆知識や収集ガイドがびっしりと書かれています。収集ガイドは「切手を集める心得」、「良い切手と悪い切手」、「どこから切手を手に入れるか」、「整理保存の注意」という構成になっていて、結構まともなことが書かれています。ただし「高級な切手はパラフィン紙か耐湿セロハン紙で一応くるんでからヒンジで貼り込む」というあたりは時代相応ですね。